

2026年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月14日

上場会社名 株式会社ブランジスタ 上場取引所 東
 コード番号 6176 URL <https://www.brangista.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩本 恵了
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 吉藤 淳 (TEL) 03-6415-1183
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年9月期第3四半期の連結業績 (2025年10月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年9月期第3四半期	3,701	△2.8	844	12.5	759	1.6	1,878	315.0
2025年9月期第3四半期	3,809	8.9	750	13.3	747	13.5	452	8.9

(注) 包括利益 2026年9月期第3四半期 △615百万円(—%) 2025年9月期第3四半期 1,854百万円(339.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期第3四半期	132.38	—
2025年9月期第3四半期	34.01	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年9月期第3四半期	8,030	6,177	75.5
2025年9月期	8,791	6,099	67.9

(参考) 自己資本 2026年9月期第3四半期 6,062百万円 2025年9月期 5,970百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2026年9月期	—	25.00	—	—	—
2026年9月期(予想)	—	—	—	40.00	65.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 2026年9月期における1株当たり配当金につきまして、15円00銭から65円00銭に変更しております。詳細につきましては、2026年3月2日に公表いたしました「配当予想の修正(特別配当及び中間配当の実施)に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2025年9月期期末配当金の内訳：普通配当0円00銭、記念配当10円00銭

4. 2026年9月期中間配当金の内訳：普通配当0円00銭、特別配当25円00銭

5. 2026年9月期(予想)期末配当金の内訳：普通配当15円00銭、特別配当25円00銭

3. 2026年9月期の連結業績予想 (2025年10月1日～2026年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,600	7.8	1,450	25.9	1,420	26.8	2,000	204.5	140.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名)、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年9月期3Q	14,575,300株	2025年9月期	14,575,300株
② 期末自己株式数	2026年9月期3Q	104,988株	2025年9月期	1,754,988株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年9月期3Q	14,192,535株	2025年9月期3Q	13,313,435株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(四半期連結損益計算書)	5
(第3四半期連結累計期間)	5
(四半期連結包括利益計算書)	6
(第3四半期連結累計期間)	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調で推移した一方で、物価高の長期化による生活防衛意識の高まりなどが個人消費の抑制要因となりました。加えて、海外においては、不安定な中東情勢による資源価格の変動やサプライチェーンへの影響、米国等の通商政策の動向、金融資本市場の変動など、我が国の経済の先行きに対するリスク要因が存在することから、依然として不透明な状況となっております。

このような環境のもと、当社グループは、「プロモーション支援事業」「メディア事業」「ソリューション事業」の業容拡大に努めてまいりました。

当第3四半期連結累計期間の業績は、ソリューション事業における3Dホログラム映像演出サービス等のスポット案件の減少により売上高が微減となったものの、「アクセルジャパン」における利益率が高い更新売上が好調な推移を継続しており、連結業績を牽引していることに加えて、電子メディア事業の宿泊施設、飲食店などからの広告掲載が好調に推移しております。さらに、メディア事業においては集客を目的とした広告運用の効率化が図られたことで、利益率が向上したため増益となりました。以上の結果、売上高3,701百万円(前年同四半期比2.8%減)、営業利益844百万円(同12.5%増)、経常利益759百万円(同1.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益1,878百万円(同315.0%増)となり増益を達成いたしました。

報告セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

[プロモーション支援事業]

プロモーション支援事業では、タレントを起用した企業プロモーション支援プロジェクト「アクセルジャパン」を提供しております。

当第3四半期連結累計期間においては、ストック収入である更新売上の好調な積み上がりに加え、新規売上の拡大に向けた重点施策である金融機関パートナーとの連携強化が順調に進んでおり、新規売上の増加に徐々に貢献し始めております。また、季節性に伴う広告宣伝費の増加を抑制したことで、増収増益となりました。今後も金融機関パートナーの連携拡大を行いながら、紹介案件数を増加施策にリソースの充当を開始しており、第4四半期以降の更なる収益拡大に向けた営業体制の構築を推進しております。

以上の結果、プロモーション支援事業は、売上高1,616百万円(前年同四半期比7.3%増)、セグメント利益660百万円(同4.5%増)となりました。

[メディア事業]

メディア事業では、ウェブの表現力や利便性を活かした無料で読める電子雑誌を制作・発行し、電子雑誌への広告掲載や、企業のブランド価値向上を目的とした電子雑誌の制作受託サービスを提供しております。

当第3四半期連結累計期間においては、電子雑誌「旅色」における宿泊施設や飲食店などからの広告売上が好調に推移したものの、第4四半期連結会計期間に偏重する地方自治体とのタイアップ広告の季節要因によって減少しております。一方、集客の効率化が図られたことで、増益となりました。

以上の結果、メディア事業は、売上高1,440百万円(前年同四半期比1.1%減)、セグメント利益235百万円(同46.1%増)となりました。

[ソリューション事業]

ソリューション事業では、ECサポートやウェブサイト制作・運営等のソリューションサービスを提供しております。

当第3四半期連結累計期間においては、ECサポート売上は堅調に推移した一方で、3Dホログラム等のスポット案件が減少し、減収となりました。

以上の結果、ソリューション事業は、売上高590百万円(前年同四半期比24.7%減)、セグメント利益90百万円(同10.9%減)となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は8,030百万円となり、前連結会計年度末に比べて760百万円の減少となりました。当第3四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は次のとおりであります。

(流動資産)

流動資産は6,618百万円となり、前連結会計年度末に比べて2,862百万円の増加となりました。これは主に、現金及び預金が1,751百万円、親会社へのグループ内CMS（キャッシュマネジメントサービス）に基づく短期貸付金の実行により1,000百万円増加したことによるものであります。

(固定資産)

固定資産は1,411百万円となり、前連結会計年度末に比べて3,623百万円の減少となりました。これは主に、投資有価証券の売却や時価評価に伴い3,593百万円減少したことによるものであります。

(流動負債)

流動負債は1,303百万円となり、前連結会計年度末に比べて136百万円の増加となりました。これは主に、賞与の支給により賞与引当金が118百万円、1年内返済予定の長期借入金が99百万円減少した一方で、未払法人税等が322百万円、預り金が45百万円、契約負債が26百万円増加したことによるものであります。

(固定負債)

固定負債は549百万円となり、前連結会計年度末に比べて975百万円の減少となりました。これは、投資有価証券の売却や時価評価に伴い繰延税金負債が875百万円、長期借入金が100百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産合計は6,177百万円となり、前連結会計年度末に比べて78百万円の増加となりました。これは主に、投資有価証券の売却や時価評価に伴いその他有価証券評価差額金が2,527百万円減少した一方で、利益剰余金が1,388百万円、自己株式の処分により自己株式が1,174百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2026年2月13日の「通期連結業績予想の上方修正及び特別利益の計上に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づいており、実際の業績等は様々な不確定要素により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,767,883	3,518,944
売掛金	1,967,730	2,047,940
前払費用	112,327	114,555
短期貸付金	—	1,000,558
その他	20,762	46,764
貸倒引当金	△112,696	△110,231
流動資産合計	3,756,008	6,618,531
固定資産		
有形固定資産	33,130	34,478
無形固定資産	88,667	101,451
投資その他の資産		
投資有価証券	4,759,112	1,165,915
繰延税金資産	104,008	63,585
その他	50,096	46,319
投資その他の資産合計	4,913,217	1,275,820
固定資産合計	5,035,016	1,411,750
資産合計	8,791,024	8,030,282
負債の部		
流動負債		
買掛金	153,073	163,537
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	233,129	133,196
未払金	161,009	133,097
未払法人税等	176,103	498,421
契約負債	120,433	146,545
預り金	15,383	60,892
賞与引当金	118,029	—
その他	89,701	67,796
流動負債合計	1,166,864	1,303,486
固定負債		
長期借入金	425,605	325,308
繰延税金負債	1,099,360	223,868
固定負債合計	1,524,965	549,176
負債合計	2,691,829	1,852,663
純資産の部		
株主資本		
資本金	621,052	621,052
資本剰余金	1,021,448	1,076,465
利益剰余金	2,306,218	3,695,110
自己株式	△1,248,947	△74,715
株主資本合計	2,699,770	5,317,913
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,265,378	737,830
為替換算調整勘定	5,330	7,069
その他の包括利益累計額合計	3,270,709	744,899
非支配株主持分	128,714	114,806
純資産合計	6,099,194	6,177,619
負債純資産合計	8,791,024	8,030,282

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
売上高	3,809,771	3,701,222
売上原価	1,088,695	1,030,208
売上総利益	2,721,076	2,671,014
販売費及び一般管理費	1,970,837	1,826,857
営業利益	750,239	844,157
営業外収益		
受取利息	730	3,037
雑収入	1,345	707
営業外収益合計	2,075	3,745
営業外費用		
支払利息	2,979	5,951
株式交付費	—	30,510
自己株式関連費用	980	468
租税公課	—	25,390
寄付金	—	24,500
為替差損	816	1,353
雑損失	—	560
営業外費用合計	4,776	88,733
経常利益	747,538	759,168
特別利益		
固定資産売却益	0	—
投資有価証券売却益	—	2,015,108
特別利益合計	0	2,015,108
特別損失		
固定資産除却損	7	2,840
特別損失合計	7	2,840
税金等調整前四半期純利益	747,531	2,771,436
法人税、住民税及び事業税	164,908	581,057
法人税等調整額	93,668	280,433
法人税等合計	258,577	861,491
四半期純利益	488,954	1,909,944
非支配株主に帰属する四半期純利益	36,176	31,091
親会社株主に帰属する四半期純利益	452,777	1,878,853

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	488,954	1,909,944
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,363,229	△2,527,548
為替換算調整勘定	1,891	1,738
その他の包括利益合計	1,365,121	△2,525,809
四半期包括利益	1,854,075	△615,864
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,817,899	△646,956
非支配株主に係る四半期包括利益	36,176	31,091

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年9月10日開催の取締役会において、SBIホールディングス株式会社、SBINM合同会社及び当社との間で資本業務提携（以下「本資本業務提携」といいます。）に関する契約を締結し、本資本業務提携契約に基づき、2025年10月1日にSBINM合同会社を割当先とする第三者割当による自己株式1,150,000株の処分を行いました。また、2026年2月20日開催の取締役会決議に基づき、2026年3月9日に株式会社NEXYZ.Groupを割当先とする第三者割当による自己株式500,000株の処分を行いました。

この結果、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金が55,017千円増加し、自己株式が1,174,232千円減少しており、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が1,076,465千円、自己株式が74,715千円となっております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	28,809千円	38,338千円

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	プロモーシ ョン支援 事業	メディア 事業	ソリューシ ョン事業	計				
売上高								
顧客との契約から生じる収益	1,506,768	1,455,533	785,118	3,747,420	62,351	3,809,771	—	3,809,771
外部顧客への売上高	1,506,768	1,455,533	785,118	3,747,420	62,351	3,809,771	—	3,809,771
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	59,003	59,003	△59,003	—
計	1,506,768	1,455,533	785,118	3,747,420	121,354	3,868,774	△59,003	3,809,771
セグメント利益	631,957	161,193	101,763	894,915	37,002	931,918	△181,679	750,239

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、(株)ブランジスタメディアにおけるメディア事業以外の各種受託事業、台湾子会社博設技股份有限公司における海外での制作受託事業等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△181,679千円は全社費用等であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. 顧客との契約から生じる収益以外の収益の額については重要性がないことから、顧客との契約から生じる収益と区分して表示しておりません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	プロモーシ ョン支援 事業	メディア 事業	ソリューシ ョン事業	計				
売上高								
顧客との契約から生じる収益	1,616,418	1,439,784	590,896	3,647,099	54,123	3,701,222	—	3,701,222
外部顧客への売上高	1,616,418	1,439,784	590,896	3,647,099	54,123	3,701,222	—	3,701,222
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	458	90	548	64,667	65,216	△65,216	—
計	1,616,418	1,440,242	590,986	3,647,647	118,791	3,766,439	△65,216	3,701,222
セグメント利益	660,201	235,560	90,627	986,389	38,320	1,024,710	△180,552	844,157

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、(株)ブランジスタメディアにおけるメディア事業以外の各種受託事業、台湾子会社博設技股份有限公司における海外での制作受託事業等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△180,552千円は全社費用等であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. 顧客との契約から生じる収益以外の収益の額については重要性がないことから、顧客との契約から生じる収益と区分して表示しておりません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。